

科目名	データサイエンス（DX看護）		担当教員	大塚 敏子、小島 ひとみ、佐原 弘子、伊藤 友美、岩田 歩子	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	保健師、看護師、看護研究者				
実務経験を生かした授業内容	医療機関・行政における看護師・保健師および看護研究者の実践経験を踏まえて授業展開する。				
到達目標及びテーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護分野でのデータ活用、ICT化、看護DXの推進の意義を理解し、説明できる 2. 保健医療分野におけるデータ活用の現状について理解できる 3. 看護職に必要な情報リテラシーの基礎的な能力を身につけることができる 4. 保健医療分野における情報倫理の重要性を理解し、説明できる 				
授業の概要	society5.0に向け、保健医療分野でも様々なデータが活用されていることを知る。データの取り扱い(収集、分析、加工)や分析結果の活用について体験的に学習しながら、基礎的な能力を身につける。また保健医療分野におけるデータの利活用に関心を持ち、看護職として人間が担うべき役割について考える機会とする。また、データを活用する際に注意すべき情報倫理についても学ぶ。				

授業計画	
第1回	保健医療分野におけるデータ活用、看護DXの意義や現状(大塚)
第2回	情報の定義と特徴、データ・情報とは(佐原)
第3回	看護用語の標準化(共通言語)、医療情報の利用と倫理(佐原)
第4回	社会及び保健医療と情報、看護と情報システム、看護DXの必要性、情報リテラシーの重要性(伊藤)
第5回	医療現場のデータ活用の実際：入力されたデータの活用方法(伊藤)
第6回	データから今を知ろう(大塚)
第7回	データを活用するための統計演習(代表値、標準偏差、正規分布等、検定等)(大塚・小島)
第8回	身近なデータから学ぶ生体情報を用いた統計演習① 学生のバイタルサインを測定活用データ収集、準備(大塚・小島・岩田)
第9回	身近なデータから学ぶ生体情報を用いた統計演習② 学生の運動前後のバイタルサインの収集(大塚・小島・岩田)
第10回	身近なデータから学ぶ生体情報を用いた統計演習③ 記述統計、推測統計を活用したデータ分析、見える化を行い、発表(大塚・小島・岩田)
第11回	データから今を知ろう(地図で見える化)(小島) 既存のデータを地図上に起こして見えてくるものを把握する
第12回	模擬データからデータの見える化。健診結果と生活習慣の改善について(大塚・小島・岩田)
第13回	模擬データからデータの見える化。健診結果と生活習慣の改善について(大塚・小島・岩田)
第14回	模擬データからデータの見える化。健診結果と生活習慣の改善について(大塚・小島・岩田)
第15回	データ分析まとめの発表。分析から保健医療への課題提言を行う(大塚・小島・岩田)

事前学修	授業計画に該当する部分の内容を事前に調べて、授業に臨むこと。
事後学修	演習で配布されたプリント等を見直し、復習を行うこと。授業中に出された課題は学修しておくこと
フィードバックの方法	毎回出席カードを提出し、質問や感想等についてフィードバックを行う

成績評価方法	割合(%)	評価基準等
レポート	30%	各教員からの課題、最終レポートにて到達目標の達成度をみる
上記以外の試験・平常点評価	70%	演習や課題への参加状況・取り組み態度
定期試験	0%	定期試験は実施しない
補足事項	データサイエンスはカリキュラム上「データサイエンス入門→基礎→DX看護」という積み上げですが、履修要件はありません。自分用のノートパソコンがない場合でも履修はできますので、担当教員までご相談下さい。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	数式不要! はめ込み統計学 EZRでできる保健医療統計これだけ、医学書院、ISBN978-4-260-04582-7 EZRでやさしく学ぶ統計学 改訂3版～EBMの実践から臨床研究まで～、中外医学者、ISBN978-4-498-10918-6 看護情報学 第3版、医学書院、ISBN978-4-260-04205-5			